

令和2年度

八戸理容美容専門学校

自己点検・評価報告書

八戸理容美容専門学校

2021/03/31

◆評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
理念・方針・学生等は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
学校における職業教育の特色として挙げられるものがあるか	④ 3 2 1
学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
理念・方針・学生像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
教育目標、学生等は、理容科美容科に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・教育理念・目標の周知を学生、保護者に徹底していきたい。
- ・業界のニーズに対応する学生の育成に努める
- ・国家試験にむけて実技、学科の対策を綿密に立てていく。

② 今後改善方策

- ・ホームページを活用し情報公開を提案する。
- ・学生に対して、月ごとに目標を持たせて授業に取り組ませる。

③ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
目的等に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・文書ファイルをすべてパソコンで管理できるようにする。

② 今後改善方策

- ・システム構築の為、必要な機材・人材育成に取り組む。

③ 特記事項

- ・さくら連絡網システムを取り入れることにより、急な対応にスムーズに取り組めるようになった。
(新型コロナウイルス・地震・大雨・大雪等)

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3. やや不適切・・・2、不適切・・・1
教育方針に沿った教育課程の編成・実施計画等が策定されているか	④ 3 2 1
教育方針、学生像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1
授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・職員の指導力育成強化。
- ・カリキュラムについて、教員で意見交換をし、年度で見直しを話し合う。
- ・教員個々で、授業計画を立てるのではなく、公開授業する機会を設けて評価する。
- ・新型コロナウイルス感染予防の為に、予定していた実習が中止となった。今後もこの状況は続くと考えられるので、それに代わる同レベル程度の授業内容の工夫が必要。

② 今後改善方策

- ・授業評価を生かして、授業を進めるような体制を整えていく。
- ・1年生からの指導が基盤となる。
- ・各部署ごとに定期的に振り返る時間を作り、お互いに問題点・改善点を話し合う。(1ヶ月に1回位)
- ・学生の情報などは、全職員で共有する
- ・社会人としての、マナー指導の充実。

③ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・卒業後の動向の把握が難しい。
- ・国家試験にむけて、もう少し早めの対策をしたほうがよい
- ・就職企業との連携をとり、明確な情報の収集に努める
- ・各専門技術方面の就職先の情報収集に努める（マツエク・エステ）

② 今後改善方策

- ・卒業生の追跡調査等のシステムの構築の提案（3年間）
- ・常に、目標意識を持たせる

③ 特記事項

- ・卒業生の近郊の開業状況に関しては、多くはないが把握できている
- ・業界で活躍中の卒業生に、ヘアショーへの協力依頼

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
国家試験不合格者に対する支援体制はあるか	④ 3 2 1

① 課題

〔 ・学生相談は、必要に応じて、定期的に相談日を設ける 〕

② 今後改善方策

〔 ・保護者等との面談の機会を増やす 〕

③ 特記事項

〔 ・学生、保護者面談をし、個々に合わせた細やかな指導をおこなっている 〕

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

① 課題

〔 ・施設設備の改善 〕

② 今後改善方策

〔 ・設備について急務となる場合があるので、日頃の点検等を確実に
・緊急時に教職員が、すぐ対応できるような体制をしっかりと整えていく 〕

③ 特記事項

〔 〕

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
学生募集活動は、適正に行われているか	④ 3 2 1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・理容科の増員
- ・入学者の増員
- ・今年度はコロナ禍の為、思うような活動ができなかった

② 今後改善方策

- ・SNS のさらなる活用

③ 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

①課題

[]

②今後改善方策

[]

③特記事項

[]

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか	④ 3 2 1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	④ 3 2 1
自己評価結果を公開しているか	④ 3 2 1

① 課題

[]

② 今後改善方策

[]

③ 特記事項

自己評価結果を公開している

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1
学生のボランティア活動を推奨、支援しているか	④ 3 2 1
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	④ 3 2 1

① 課題

- ・コロナ禍の中での、ボランティア活動を考えていく必要がある
- ・今年度は、コロナ感染症の影響でボランティア活動ができなかった

② 今後改善方策

- ・コロナ感染症が終息後、迅速に行動出来るようにする

③ 特記事項

- ・県の労政能力開発課がおこなっている、長期高度人材育成コースを実施しており八戸工科学院より、訓練生の受託を実施している